一筆

特別
へ12
5127
12

并九 桂枝
梅枝
友裏集

# 並び槙柱

巻代名を寄として長次浅氏代表
二十七家乃十月より成八厩の秋を
乃事乃ことより又堅並なり
うすしらよりしらこめさんをつこう
浅氏の表の浦へなりまへの巻をい
まこのつりよりむこりの表内絵巻
なりはへりのひけらの家なりは
ものすくんあへしかこうとを
ゑはくるくこりへのいあへ
うすとのあまもへなり

石山の佛ことゝ　石山の御堂の事

ふるまひあり弁の殿ゆりとゝむるこゝ
ゆゑなり

こゝより野路　うしろをみてゝ山をこゆ

ふえをもとめぬ山ゝなり

なるひをてゝ山ゝ　けなり事とゝ

ゝ見しかゝ

ゑけゝろハ山方ゝ　むゝゝ

つゝもゝ山ゝ　形のひよむゝ

ゝ所流ゝ　ゝ山のゝ

ゝあゝゝ山方のゝ

ゝ為ゝ　ゝ山ゝ

ゝ為ゝ　ゝ山ゝ

ゝ為ゝ　ゝ山

[illegible]

内の行事

[illegible]

三日の乗乃御せ[illegible]

いとひの儀式いあり[illegible]

[illegible]

[illegible]

かくさのひ[illegible]

まえは内りきこしめ

さんすのあ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神事　霜月の祭月にて[illegible]

祭のさはさよりて女官とも[illegible]

院へまゐりたまふ

内侍司　中　尚

侍　典侍　掌侍　女蔵人　いとほれ官あり

無清涼

式部つぼの御事あり

女官とも内侍あり

[illegible]

あさしもあり[illegible]

行[illegible]

ひけたまふ

やしまさんとうつきあり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

似たるものの音の人　ひけくらのすなり

[illegible]

遠川と源氏の引[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

川ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

毎ゆい方より[illegible]

今し時ものさきりとのゆまへし

琴をまつてゝ[illegible]

しを言の琴しんあり[illegible]

[illegible]

むつ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二条院ゆゝ　むろの文　琴の上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むろのすま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]り世の人[illegible]似ぬと
世の[illegible]
[illegible]の人のすり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]やふ　実なりなり

こゝろもとりさしおく　諸義成御

さてしまりん　りとりとまりくれ

せうとうあの金[illegible]

月とりぬてこうむ海の　菩乃火

[illegible]よりせたり

いろ[illegible]人よ　いて伊ゆとん

[illegible]義成御めまゝうりされ

いたりのうてうの人ハ[illegible]

むてし計てゆひのあて

うきうりなりのさまけて　りとうとん

世世の[illegible]むてうのすとんゆりん

月[illegible]なり

ちうきんよりりめ[illegible]　二佛のちうん

[illegible]やうの[illegible]りなり　むてうとめ

しりさうやりなんとん

中將侍従民部大輔　[illegible]

[illegible]文の悪民部大輔よ仕をまゝさすか

論あり　[illegible]首八くのとく仕官勿論

[illegible]義さらハ　のけうの御戸へ[illegible]

かしひ[illegible]しとハ異しあて

人のりとめあまゝうとうとあんん　人と

又ちねのうり　うまいりてさいりはりん
家の母をもん
けのうは母若のまいぬまゝなり家
我詠で宮ひなり
人まうりぬむ　世仏未乃
まを母くりたまうり官位をもす、
みうねぬまゝなり
むーわうり
嫡母と又ハ祖母ゆりまも継母
のいりまうりまうるゆりうる
まーてうるのやうて　又ゆーいて祝

ちうりやうう
うをもりうりハりんと　ちねもを
りうの方より母ゆうりまいりうる
常より母ゆりのはりめ
ひうをぬ　服若のりめはりの
うを若いてやうて　服若のりぬはりよ
ぬはをうて　ちのうるをりい
きりぬまつうるなり
あをうまれと若るの物　ひをなる
きハ魚を乳よりせをり
うをくを若るものの　中ゆの方一若

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

母ゆかり

母歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まことにいとうれしくおもふ
ふるさとなり　石華と　石室の
ひとまとして　さりけるくて　ひとつの
の人々ひとしほとあらはれぬ
家ゝのあり
源氏の三月　事なり　以前と
ゝいとのさまありしなり
この三月　今生なり
くまゝなりぬまつる　むかしの
方にて　ちゝのやあまつ

あはしのきさき　ちゝ別あ
ゝとの美すなり
まつて　源氏　東宮
とまて　ゝいとくや　すゝ
かんせんとなり
あしあとくも　ちゝの
ゝ方のなり
とゝめて　ゝなり
むかし　ゝ道　ゝのひとく
少しとなりいさめ　あまゝあや
ゝの　美　ゝいあなり

いとわくしき　　二条より内裏の間に
つきなみの有るべくもあらず世の人もあるべき
ときめきさせたまふ　　小くらの
あこそ　　世の人の形見ぬべきなり
見るとりどりにかたらひ　　ものの
後世をねがひ　　ものの
ものの　　ものの
のしり後ろ　　ものの
ものの　　ものの
ものの　　ものの
ものの

[illegible]

女の女房　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中の女　[illegible]

[illegible]

[illegible]の女房　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

竹川伊賀

飯澤

一京

踏哥抜書のすり本の跡方にや
のゆくりハとゝくゝ先例とまをんを
所ありやうに書りとり寄めのうへを
そのせありて抜書にてし
ゆくさ迄ありてとまをんと同
えさせのひしゝハ 源氏物語のたゝとゝ
すゝしゝ 速くとゝやく迎せハとゝ
ゝてゝれとゝ 芹つゝ育ん人をゝ
ゝゝゝゝのゝ みハりゝん
引ゝまをて ゝなゝ
ゝれゝつゝさのゝし ゝれの巻序のゝし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]のやハ　[illegible]の源氏り

似せ世ゆ[illegible]ましませゆ[illegible]ひ[illegible]て

[illegible]ましなり

言り[illegible]の[illegible]ゆ[illegible]て[illegible]

[illegible]ま[illegible]今[illegible]やあ[illegible]ん　前の[illegible]の[illegible]

[illegible]ん[illegible]　[illegible]信の[illegible]

[illegible]ありゆ[illegible]仏[illegible]の[illegible]

[illegible]ゆ[illegible]りしと[illegible]

[illegible]人あ[illegible]ハ　[illegible]人[illegible]

[illegible]せ[illegible]や少[illegible]なり

[illegible]世[illegible]　女[illegible]の女[illegible]

[illegible]仏[illegible]りて[illegible]の[illegible]

あ[illegible]ひあり

[illegible]ありゆ[illegible]仏なり

[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]かゆ[illegible]

[illegible]ろなり

[illegible]の[illegible]　後撰云平安

[illegible]の仏[illegible]女[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆしつハさとあらん　なにさとかしんハあら
せしえ作こまぬしなり
作ふく燒の　さとのあまに　こぶふく燒
風ぶいさこゆしさぬ　ぶしあなしさなり
めさとして　さわのうろしめさとと
りうやうしゆぶすしなり
しんと　世しんしけめしいしなり
うのふるし　ゆうふるなり
さらうあるきさく　みこやうあるき
ものなりあり
右近うりん　むしりしの戸への文なり

ゆやさん事さしん　右とうこうろゆ
さうりあまし文なり
うしさ近てうしけさ氏の　いしんこの事
やさん三のさんや　やさりあるの人事
ワの作さんや
いしりこん　右近宮城三作うし
なあすの影のこりくよ　前のうしん
つ人へといし丑やしあ近こいそのの
三のさしハあんしりうさこいし
ささん三名しハ寧事作る汨
のやくこいそいしのこ

第七 只信要物 百姓ハ[illegible]ヤ作人

今ハ只[illegible]

[illegible]

けよとの[illegible]人のこと

[illegible]

いやしく　[illegible]

恭字[illegible]

むれの　[illegible]

[illegible]

[illegible]

むろのの[illegible]

[illegible]

[illegible]

すいあり人ハ　世間の人のうらやみ

[illegible]

あつまれとうと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]作のまぜ[illegible]　花のすゝ

[illegible]　[illegible]

と[illegible]のふ世て[illegible]

[illegible]

[illegible]の中道　[illegible]の[illegible]

降し[illegible]ぬ[illegible]

と[illegible]

[illegible]　久さ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

きく人[illegible]

[illegible]の[illegible]ハ　[illegible]

の祖[illegible]源氏の[illegible]今[illegible]

と[illegible]

[illegible]

かりの[illegible]　[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]の　[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　前の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



又まことに秋のすゑあり世文所多く

いとをかし　作者のこゝろなり

ちゝ行く　ちゝのゆくへの事

ゆくさかしつゝ　ちゝ世ゆくへの涙

むせびあらしむるこゝろなれども

とまりて　みこゝろ　北東院より

みよの世ゆくへもきゝぬとて

あはりなりなるなり

あはれの　女房なりけるなり

世女房の涙方ふ　内裏ひく殿殿殿の方へ

三位殿の中將を　久吉ちゝなり人な

[illegible]

[illegible]

[illegible]

## 梅枝

巻の名ハ此御手ハ源氏の君三十九
歳乃春なり
御年中文十二歳
御手ハ　今の上十三歳にてまし〳〵ける
三月の晦日なれハ　御書着ハ二月十
一日のすゑ〳〵日さしよりやのすゑ
ものゝ心ゑまさりなり
大武のさてまりけるつ　次ての事
よのなりし大武のすゑやゝ高けの
大武のすゑなりや

院の御所ハ六条
て代ての御所なり
行かゝる御ものゝ　其比さしあはせなり
ちゝさ御所ものゝ　御入内のさいて
のうんき　和金ぬくとりあるゝ錦なり
この〳〵のあや　大武のなをあて
兼和　仁明の御事をうんとゝいふ
なあり　この字ハ書誤なり　この中ハ
是ハ仮名の二　二の方ハ不仮男と兼和の御い
いてゝ
まものゝ心のさまなり

[illegible]

[illegible]

東の中の[illegible]

むなり中の[illegible]

の間[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八条[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

義和のいま[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かつらあをせて　はるれとく　ゆへいつ五しんと
をうつ　　ゆ　あるなり
ふいとき　　ふゆ　ときの事
　　あさく
きこ　　源氏の侍　　の
　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宰相中將　久舞なり

くもゐのやう　この判者ハ　くれ〳〵　きこえ

梅のうちあんとこと

くもの色よ　今はるかすみあさ〳〵紙

作ハ黒方　りきをみなりとゝ　ゆ

紙なり　とゝ後ふりつゝ　こゝの言

ゆゑなりて　加賀あるべしりて　うゝ

ものあるなり

さハいへと　りきを　ゆゑ　孫　とゝ

とゝなり　りハ　必　ゝ　ゝ　ゝ

なり　ゝ　ゝ

行ゝ方作ハ　りきを　作ハとあゝ世ゝ

まゝ中ゝ　ゝ

ゝいくゝ　を　梅花ハ　ゆゑ　ゝ　ゝ

ゝ　ゝ方なきハ二の句ひとり

ゝて　ゝ　梅花と　ゝ

と判し　ゝ　寛敬僧都　ゝ

作て春なきゝて　ゝ

やゝやゝ　ゝ

ゝ

世ゝハ梅花と　ゝ

ハ　ゝ　作ハ源氏のゝ　梅花

[illegible]

あくるとしなりし

かとくしてさらいそやと　竹隈里方

ハうれうくしあるひ竹ハ[illegible]

其数しらしらひうしうして荷葉

と二種合わかて燈ハさへ四月ハ方

とりてうしうしてりて花菱里のよ

うり斟酌ハ[illegible]年とうりかえうハ

夏の蓮ハ有り

名ハ所百ゝ所ゝ[illegible]ひのひなま

蓮ハ有り

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の[illegible]方と[illegible]ことより百貫の方
[illegible]に[illegible]書[illegible]の[illegible]同[illegible]として百
貫[illegible]に[illegible]一百[illegible]宮[illegible]
一[illegible]朱雀院の[illegible]衣書と[illegible]
百貫の書と二種と[illegible]あ[illegible]
[illegible]に[illegible]百貫の書に[illegible]
出[illegible]と兼平[illegible]百貫の
書[illegible]付[illegible]八[illegible]ある方へ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

へ[illegible]と異[illegible]
部に前朱雀院[illegible]
館擬樹[illegible]朱雀院八[illegible]
[illegible]兼平[illegible]門と朱雀院と[illegible]付
[illegible]宮[illegible]前の宮[illegible]
[illegible]
[illegible]兼平の[illegible]門と前[illegible]
[illegible]
前朱雀院八[illegible]の[illegible]門の[illegible]
[illegible]の朱雀院と兼平[illegible]門と[illegible]
[illegible]八前の[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏の[illegible]

[illegible]

[illegible]人一所　[illegible]

次の間より布障子[illegible]人形と

[illegible]地下の者仮[illegible]

あるの[illegible]あり

[illegible]着し[illegible]

あるべきようなり

[illegible]

[illegible]れの礼あり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

や年へて後ハ
[illegible]
こハ作る　めんの中ゑり
ゑし　春ゑの作る
なかとをりへよ　ゑむかとをり
うりのこゑん　かんなハちくさりなれハ
[illegible]
さまれるやこゑ　筆法のすよ
やこすしてかしてとく一方しさなり
かりや
とりて　をあつりてハ異なり昔ひと

きりハ所こすをりし
女平と名いはとて　源氏の系作平と八
[illegible]
[illegible]
きこゑん　[illegible]
の系紀よ作こ[illegible]
作[illegible]
ゑの作平八　秋好の作ゑ
[illegible]
[illegible]

[illegible]

院内侍書　勝月秋

[illegible]

[illegible]

和字にも清濁ふるめり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

例の寝殿　草木物語の一巻なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二位殿入道殿の御はらの
姫君女はらの御ことなり
又あるは春日殿の御ことなり
のちくはあり其の軸は唐の地わ
多人のかき　明くの人きり
殊にとりわけ見てく　切灯高くすゆく
ものをかき　文のこと
へきしはいまりよりめしてし
上中下　ことにしりもし
い法ものこと　明石中宮の御法あれ
きしと人のりとるまりとせ多まし
法華堂の　法人今ハ明れの二を
きりとり出して三金法ハのこと
と云り地獄ハ　てこりいくはこと
ハ明石と中宮ひいて好つるなり
とあるハ内とすなり
内に行くは法いそと人のこへて
多まを　弘徽殿の女御と秋好中
宮と　宮人中ハ中野殿と東
宮人中地獄ハ中野殿と東
宮人中ハ中野殿と多
宮人中地獄ハ中野殿と

つまとしてこらしめあり給ひしに
浦なびよくさなりぬ
物りろくうきなせりかてを
うの人の　少さりのうなり
一くさつまとて　人のうれ思ふ言ぬし
あり給ひよくよ　ありめやとかを
そこあの月ねを
うの月ありのうり　浦民の浦こそ
ちの中ゝ中都之　少紙不見も
こさこそとん夕書と舞しと好
うやゝのすハ　浦の文れ門の浦
とくをこそ　こさをぬのうこと
ちられため　いい浦とへのり主四合
ありぬ　月ゝあめこと行りり
ありぬ　月ゝあめこと行りり
物りひのりまとう今ふりをとんりる
あるゝゝすきゝ今つきる
今ゝゝこうのうるまひとまれ
こまさうあのうれはこて
こりまつのまきれりきすのあ
はあひそいさめをゝ
住濃く　住あされ世を為詠り紙

みくあしきのあらしなり
ものまくはかりまひ　ものとりめ
をはのもとりめくさてくら
くれはかさけくこをあるとんりなし
むしもそなくあり　寛平遺誡よれ
世　先年おなをあ事有而失こをしてこれ
年　ちしなをの道よりしてくなめ也給へ
ようあやまりは、こむ人の　ゆきまてよ
四業をもくあ　めてこうめはくあるる
人のようなくし
ちーハはやのみく　なのわやすなはな

くあるくあるあるあるんんハ　ものハはやな
きなをするるるるるるるるるるるるあ
ハるるるる世のるるりよあるてるんん
るるくるるるるるるるるるるるるるるる
あるくるるるるるるるるるるるるるるる
るくハうるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる

[illegible]

やうこそ野辺の[illegible]

[illegible]と聞こえし中納言な

[illegible]

やうこそ[illegible]

[illegible]

[illegible]

# 藤裏葉

巻の名は初めて源氏の君
三十九歳梅枝の巻に引かれ
たるなり名のみ有りて
詞いとなし

明石の中宮入内

のどかなるあらしにつけて久しく
雪降りぬるころ
風もなくあたたかなる日
とく咲きぬべきやうなる
梅の花
中務宮の
久方の光のどけ

[illegible]

[illegible]

三月廿日　[illegible]

[illegible]宣玄建立ス在海[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏の侍ども

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏書の世界年代ひさしくなりぬるを
きりハ中ちかくなりまさるとなり
ゆゑなりとぞ
のよめてゆゑすなはちハとりかとく
久方の光さやけ源氏なり海ひろ
ゆ波いとゝ多くなりぬ
義氏卷　内大臣氏と紫なり
夏ふかくなりぬ
文ふみとゝ
りなれ友の卷　おとゝのこゝろ
れをいとゝ多くなりてこゝろ
義ふかく義とゝの名月くらの
すてゝこゝろのとゝめるよりとけるハ
ふくきゝとゝゆるりとゝ世界女とゝ
君ゝ君ハ世ハ　宮氏の酔ハまれまて
のをとゝ集あるとゝなり
文籍
ゆんとゝ家礼ゝ通いゆとゝ　君ゝ
いとゝ内大臣氏ゝ家礼といハハ
のゝとゝやまとゝ他人なとゝ
ふ准して礼といふとゝハとの世とゝ
家礼といふとゝこゝろなりゝ久きゝ
家礼のゝとゝハとゝまゝ海とゝ
見ゝとゝこゝろ形ゝ義氏　なゝのゝとゝ

[illegible]ん儒道のことをいつり
一説 又藉家礼[illegible]
[illegible]
一説[illegible]なり
いうてうじゃうじゃ　久寿元年[illegible]
[illegible]
時[illegible]
[illegible]
友のうつ楽　由[illegible]
友[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]野殿ゆりひらへ[illegible]
れしまさん　筆者のこと葉なり
世ゝにゆきらぬとなり
古の久月来　まへよ卯月翌日より
といひし上句のすゑいるなりし
ゆゑまさらの物指　前よりくく
ちかりといる指しものたりなし
の事なりし
あつまる　俳諧の系　弁ずれば
ゝゝゝゝゝゝい奇初しやよりて
といふこと義あり　久しう若なり

の[illegible]ゝ事なりゝゝゝ
ゝつゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝの歩行いゝゝゝゝ
けやゝゝゝ　元　ゝゝ字を已おゝいゝ
あり実よりゝゝる而ゝなくゝゝ
つゝゝゝゝゝなり
年毎しけの秋家　元　ゝゝ此時
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
あのゝゝゝゝゝゝ
ゝゝよゝゝゝゝ

中これはゆゝしきりよ
と家のあるじ
引きつくろはれ　ゆゝしく
いとうるはしや乗せ申げる
小道の方を地ゆゝしう
りうきく　ゆゝしき
しゝんしりて月へきすく
かゝるゆゝしきこゝろへよく　いりうの方
へなるをくいてをり
杖よ柴をるハ
ゆゝしき女なれとゝ

高砂

引きつくろひてをなりけるやゆゝしやとゝ
めゆゝしや杖し柴れるハゝをゝ柴
ゆゝしやといひ
あくあんといひ
言ふを中将いとゆゝしきをゝ
いとうるはしてのゝをゝや以若なく
ゆゝしきこのゝ引きの面度の三
ゆゝしくなりへし

中将ハ公のゝよ　以中将なり久年若
方より三さハりをとこ
ゆゝしゝあれ　いとゝしくなりめる

八人のれとけてとそわすり　弁慶ものあしれ
かてらしりとく
とうあひ　はけ夕青の我へ海はれ立
也答ようしのくくありしとあれ
但　川はれ　あしれまれと出
て口は移ぬやかて立れ河あれを
まりはとて仕てくい
つくさはハ無ハ雪ようとうとと
のされ法いの　　平家
雪あさよりやの方と深く
ひなり　関ハまりれ

ようりとりあるとうとてあ
川はの関ひくうや
ようよりあくきさの関　奥羽へく
ひくまりりあり　花ちり　されてを
ようは程あはハ行人まあ川口
のあれうあとあ
ひさとりあ関字ようもも
ようさきたとう立
あしてそ　花　あしてすてと
移くはの　久まりの姿

つゝせりけり　又のごとく歌あり如若
のこゝろのゝひあまたゝなりなり
こゝ[illegible]　多へぬ
[illegible]　又[illegible]
[illegible]　少[illegible]
是ハ[illegible]　又[illegible]
[illegible]
右近のそく　夕霧右中将　右近の将
監[illegible]
すくこ
[illegible]　[illegible]
[illegible]

源氏のゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

源氏三十九巻

夕きりすゝ第三巻
行[illegible]ハ　元　源氏のこゝ[illegible]
花田こ[illegible]
[illegible]相殿ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ありてよろめいはてゝねのすなり
こうさあやハよぬのすゝ
くりん仏　卯月八日佛よれそくの
ワゝゝハ布施ものとりなりゝし
ワさしゝゝ　久吾よ家ゝけし人ゝ
女房のれありさ海　女房のれさいゝい
ハゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ワ方　女房のれゝゝゝゝゝ
あゝらの方　ゝし野方の母なり
房いゝゝき　房入内のすゝ
只あまよまゝてゝゝゝ　ゝ後姫乃

別置所とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

文殊菩薩八字にしてじゝ[illegible]の時
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のゝ[illegible]の御事ありし

二乃御方ゝ

明和乃中文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]氏の若ハ左近衛左右ハ
里院号[illegible]ハ[illegible]ハ左近衛左右の食
封ハ緑令ハ[illegible]ハ三百戸の[illegible]
一条院の例として三百戸[illegible]
[illegible]三百戸のうち[illegible]
[illegible]寺関白[illegible]食封[illegible]ハ
[illegible]ハ[illegible]ハ別[illegible]孫
[illegible]ハ[illegible]院の[illegible]封[illegible]
[illegible]
[illegible]寺爵

年官[illegible]信[illegible]家[illegible]人[illegible]
受位[illegible]
[illegible]
昔の例[illegible]左近衛の二[illegible]
[illegible]氏ハ[illegible]左近衛[illegible]ハ[illegible]
[illegible]院司[illegible]補[illegible]
の[illegible]昔の例[illegible]
[illegible]
門左近衛[illegible]
の[illegible]左近衛[illegible]
[illegible]

[illegible]

八七位の歌は多くは六位なり

なり又二位三位八漢詩なり漢詩

なしめり八一位の袍乃多くは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二葉より

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

この物の名　　[illegible]乃三首妻備[illegible]

[illegible]

[illegible]乃布[illegible]義の

[illegible]

[illegible]

[illegible]月廿日あまり[illegible]より[illegible]あり

康保二年十月廿三日村上天皇[illegible]

[illegible]の例[illegible]

朱雀院[illegible]

[illegible]

[illegible]

つきしに清涼殿にて　年号
のやうにうけたまはりて
みしハ程なくありしやうにて　朝覲
行幸ハ帛袷と数て上皇と并
のうすあるなり
朝覲とハ天ゝ北又母にまゐ給ふ
池のうへ　天徳四年五月十二日ハ
釣殿石漢者　清涼
蓮人所のうへハ
掌なり　蓮人ハ蓮人所北面
補ちゝ　月花門二ツ

鳥一羽ゝ　右乃ゝ　ゝけさ　ゝ　右の
すけ　右中将　なり
問い仕　さゝまれる　仕ハ　先ゝ
あり　ゝ　ゝ　ゝ
答ゝ　ハさゝまれる　参者ゝ
ゝて　有　あり　殿の　殿
ゝけ　ゝ　ゝ　ハ　前の　池ゝて
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
や　前後ハ　遠ゝ　ゝ
玉所の人　玉所ゝ
大ゝ　ゝ　ゝ　ハ

あらてさきかしはのこなり
例の名ちり　ちりそ地　出るとこそ
清和とこの　息男といつこそ
名まさもれさうれの業も　源氏の
清和とし　出るのと蔭の
うへ　なり名　海の八眼前のはさま
業れ　ひまつ　ちの中の今なり
しきよの雲こそ　業れ　れ　れ
あり又業ハ白　ち　例　ハ　ハ
世の星　あり
業　ハ河海　いつく　慶雲寺



星れ　り　の　の　新　新　星
流星　な　代　の　新　新
化境　の　あ
世　あ　れ
れ業れ　光　白機　二名
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ
あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

この章は源氏物語の

朱雀の院世

とあめ[illegible]ひけ[illegible]のつぼ[illegible]に[illegible]

とかり茶薗は[illegible]源氏代と異トしてあ

るそ[illegible]は源氏巻なり

源氏のうのかり

源氏門と源氏と似させ給ふるれのく

中納言は　[illegible]

[illegible]源氏[illegible]久雪[illegible]れ

[illegible]めさまし[illegible]